

うえだ オレンジベスト 見守り 情報

--- 上田市少年育成センター 通信 ---

上田市教育委員会生涯学習・文化財課 上田市 大手 1-11-16 上田市役所南庁舎 電話:23-6375 FAX:23-6368 令和7年11月10日 R7-4号

「子どもたちの安全安心と幸せな人生のために」

上田市立第五中学校 校長 山下雅弘

(令和7年度上小地区中学校生徒指導連絡協議会会長)



今年度、生徒指導担当として、小中高の生徒指導に関わる連絡会議やこども安全安心見守り委員会の皆様との会合、パトロール等に参加しています。こうした活動の中で多くの皆様が地域の安全や子どもたちの健全育成のためにご尽力いただいていることを改めて感じています。本当にありがとうございます。

いくつかの会合に参加して思うことは、子どもたちのスマホやゲームへの依存、SNSを中心としたネット上のトラブルが年代を問わず多いということです。ネット上のトラブルは表に見えにくく解決が難しかったり、時には性被害や特殊詐欺など様々な問題行動の入口となったりします。小中高生それぞれに事象は異なりますが、幼少期からスマホやタブレットが身近にあり、学校の授業や日々の生活でも当たり前前に使用する今の時代、危険性と共によりよい活用の仕方を、年代に応じて指導していく必要性を感じます。

上田地域の幼保小中でも、各学校園や地区ごとにメディアコントロールウィークを設けて、テレビやスマホなどメディアに触れる機会を自己コントロールできるようにする取組を家庭と協力しながら行っています。メディアとの付き合い方を家族で話し合うことはもちろんですが、今後こうした機会を地域の活動や行事とリンクさせていけば、地域全体でメディアを離れて楽しく関わることをできる時間になっていくと思います。



丸子修学館高校ボランティア

さて、話は変わって、本校、第五中学校ですが地域での子どもたちの様子や気になることを学校に相談してくださる方も多く、その都度、良い姿を認めたり、早めの指導・支援につなげたりすることができています。こうした保護者や地域の皆様の温かな関わりや支援のお陰で、子どもたちも元気に過ごしています。毎朝、昇降口に立っていると「おはようございます」と爽やかに挨拶をする生徒がたくさんいます。でも時折、学校運営委員や地域の方から「昔の方が挨拶の声が大きかった」とご意見をいただきます。同時に「外では知らない人に関わらないというご時世でもあるから」と寂しさ漂う声も聞かれます。でも、私は教職員や子どもたちに「挨拶はコミュニケーションの第一歩。挨拶が盛んな地域に不審者は近寄らない。なぜなら、みんながお互いを知っていて、つながりの強さを感じるから。だからすすんで挨拶して、つながりを作りましょう」と話しています。

これからも、学校と家庭と地域が共に連携し、つながりを強くしながら見守りや関わりを続け、子どもたちが幸せな人生に向かって前向きに生活することができるよう、お力添えをお願いいたします。

11月 全国 子ども・若者育成支援強調月間

家庭、学校、地域住民、企業、団体及び行政が一体となり青少年の健全育成意識の高揚を図る啓発の取組が全国・県下一斉に行われています。

上田市では、11月4日(火) 強調月間初日の朝、上田駅前で啓発のポケットティッシュを配って声かけを行いました。少年育成センター(上田市教育委員会)が中心となって、上田警察署・駅前交番・県上田地域振興局・こども安全安心見守り委員会役員の皆さんに御協力をいただきました。



上田駅前啓発活動 伸びよう 伸ばそう 青少年
… 青少年は地域社会からはぐくむ

大人の責任として「NO! 性被害」「NO! ネット被害」「NO! 万引き」「悩みの相談窓口」等のメッセージをティッシュに折込み、啓発しました。



大人が変われば 子どもも変わる
(駅前掲示横断幕 メッセージ)

上田駅前パレオビル2階テラス通路南面には、活動を広く知らせる横断幕が1か月間掲示されます。

オレンジベスト見守り隊 (愛称) 活動 展開中

定期街頭活動 (年間)

月に1回を目安に、各班3~5人で街頭の巡回や訪問(見守り活動)をしています。皆様のオレンジベストの姿を見ることが見守りにつながっていると考えています。子どもに出会うことだけが目的ではありません。また、近隣の学校と連携して「あいさつ運動」も実施しています。さらに、児童クラブや児童館への訪問、バス通学している地域では、バス停で声かけ活動、地域を超えて、子ども達が集まりそうな繁華街まで足を延ばしていただいているグループもあります。

・合同巡回 (8月から12月までの間、定期街頭活動の中で1回程度)

幅広く地域の方(自治会、分館、PTA関係者、子ども会関係者、防犯担当者等)に可能な範囲で協力(同行)をいただき、定期街頭活動をします。

・環境チェック活動 (7月から11月までの間、定期街頭活動の中で店舗の都合に合わせて実施)

地域の方にも協力をいただき、一緒に地域内の店舗等を訪問し、チェックカードを用いて、店舗や青少年の様子を取り組む定期街頭活動です。

地域見守り懇談会 (6月から11月までの間、年1回)

学校管理職・学校関係・こども安全安心見守り委員の協力を得て中学校区の単位で開催する学校とオレンジベスト見守り隊との懇談会です。学校・地域の状況や問題・課題を共有して学校との連携・見守り活動の充実に努めています。本年度で、3年目を迎えています。だんだん定着してきています。

☆新任事前地区研修会

日ごろの活動について、新任のオレンジベスト見守り隊がどんな活動を行うのか、事前に伝え、新任研修を適宜行っています。(令和7年4月~令和7年6月)

少年育成センター活動 (年6回実施 郊外班代表が年1回参加)

市街地域と郊外のオレンジベスト見守り隊とが共通認識を持つことを目的として、少年育成センターが計画する活動です。指定された班の代表者が参加します。

夜間巡回活動 (夏季2回実施 市街地指定班が年1回参加)

近隣高校の文化祭準備日程にあわせて少年育成センターが計画し、指定班の皆さんに参加をいただき夜間の巡回を行います。

上田駅前パトロール (市街地指定班が年1回参加)

防犯協会からの依頼に基づき、指定班の皆さんに参加協力をいただきます。

総会(年1回) 全体研修会(年2回)

理事会(年4回) 地区会長・班長会(年2回) …… が開催されています。

☆学校の要請を受けての見守り活動の実施

10月の中旬、丸子中央小学校の区域内で、下校途中の児童をカメラで撮影する不審者が出没する事案が、3件頻発しました。学校からの要請を受けて、下校時の見守り活動の強化を該当地区の見守り委員さんに依頼し、実施して頂きました。学校側から感謝の言葉をいただいています。



～ 上田市の 輝く子どもたち ～



こども安全安心見守り委員会 全体研修会(10月2日)丸子修学館高等学校 羽田さん・西方さんの発表 から

「地域に飛び出し活躍する高校生」 ～感性・豊かな心・優しさを育む～



こども安全安心見守り委員会では、子どもたちの居場所となっている各所の状況を知る活動として、児童クラブや児童センター・シネマクラブ・養護学校などを訪問しての研修や、子どもたちが多くの時間を過ごす学校との情報連携の機会を設け、社会全体の中で多様化する青少年の活動や居場所を知る取組みをしています。

羽田さんや西方さんは、地域のイベントに「ハンド・マッサージのブース」を作り、参加したお年寄りの手を取りながら、ハンドマッサージをして、お話をしてリラックスしていただく取組みを行った。また、お年寄りの集まる集会で、ゲーム「太鼓の達人」の打ち方を指導する取組みもしました。さらに「子ども食堂」で、子どもたちを喜ばせる遊びを計画してそれを実践、子供たちと仲良しになり夏祭りの準備などをして大活躍をした。羽田さんは、こうした活動を通して「地域の子ども達やお年寄りが喜んでくれたり、感謝してくれたりすることが、次の活動につながっている」と活動への手ごたえを語った。いくつかのボランティアの体験が、羽田さん自身の成長を育み、社会貢献につながっていると私達に学ばせてくれている。



全体研修会のアイスブレイクでは、「脳トレ」「アルクマ体操」を披露してくれました。会場全体が和やかな雰囲気、集中して発表を聞き入る、見守り委員の姿が印象的でありました。

< 委員の皆さんから寄せられた感想の一部を紹介します >



○見守り委員会の研修、大変ありがとうございました。丸子修学館の皆さんが、地域イベントに積極的に参加して、自由性の高さや地域性、人々の温かさ、笑顔を大切に活動されている報告は、とても感動的でした。人が喜ぶこと、感動できる社会であるように私達も地元で活動していきたいです。(西部 見守り委員)

○丸子修学館高校の発表がよかった。(1) ボケ防止体操・・・どんぐりコロコロと信濃の国の歌に合わせてやるのはとても良いことです。(2) 老人向けスマホ教室や子供向けのイベント、遊びの企画、食堂の計画など感心する事ばかりであった。各地区の

見守り活動の様子を知れたのが良かった。他地区の活動を参考にしたい。(真田 見守り委員)

○丸子修学館社会福祉部の皆さんが、地域に飛び込み、積極的に交流したり、学習したり、研究を深めたりしている様子を具体的に知る事ができてありがたかった。また、感心した。脳トレとアルクマ体操が面白かった。自分には、難しかった。ボランティアの中で、実際にやっているんですね？とても良かったです。各中学校区の報告から、いくつかの問題行動等の事例や指導されていることなどの情報が得られてありがたかった。パトロールの必要性や注意点などを自覚できた。(中央 見守り委員)

○学生たちの熱心な活動は心強いですね。学生たちが広くいろいろな交流を行っていることに感心しました。高齢者たちに接している姿に心の交流の大切さを見出すことが出来ました。孤立しがちな障害を持つ方々との交流は、健常者である学生が思いやりの心を持って接することが本当に大切なことであると考えます。子ども食堂へ参加して自由な交流、イベントでの交流、そして、地域の方々との社会貢献する心の共有がなされており、素晴らしい環境を作る事に貢献している。また、自分たちの成長に繋がる事であると思う。私達の昔の環境と違う個別社会になっているが、昔の子ども達のように皆で集まり、遊び、学んでいける環境をボランティア活動が現代風になっているように感じた。(塩田 見守り委員)

○丸子修学館高校、社会福祉部の発表から授業の様子やボランティアの様子、やってみて感じたことを知ることが出来た。子ども食堂での活動をまとめた動画がわかりやすく良かった。実際に体験することを通して、人に感謝されることの喜びや取り組みの必要性を感じることができるのは、とても良い経験であると思った。自分たちが住む地域で困っている人や不安を抱えている人に寄り添う具体的な活動は安全・安心な居場所づくりにつながることだと感じました。貴重な発表をありがとうございました。(塩尻 見守り委員)

○高校生は、地域の方など、保護者や教員以外の大人の関わる機会をたくさん設けるべきであると感じました。教室の授業だけでは、人から感謝されたり、人の役に立つということを学ぶことは難しいので、授業について見直していきたい。(学校 見守り委員)

○丸子修学館高校の生徒さん達の発表から、高校生が様々な場所で様々な年代の方と交流されていることがわかりました。子ども食堂での活動は、小学生など小さな子供たちにとっても異年齢の人達との交流はとてもいい経験になると思いました。また、高校生は実際に体験や活動を通して自分たちで進めていく事の大変さややり遂げた達成感を感じられとてもいい学習の場になっていると思いました。発表もとてもわかりやすくまとめられていて素晴らしいかった。ありがとうございました。(学校 見守り委員)

○丸子修学館の総合研究の活動が素晴らしいと思いました。地域のお年寄りにインターネット講習をすることで人とつながる福祉を目指していると感じました。その場面でのニュースを見て、高校生もお年寄りも素敵な笑顔で接している様子が映されました。「やってあげる」福祉ではなく、互いに「つながる」福祉こそが未来へとつながる福祉であると思いました。子ども食堂へは参加したことが無かったので、見せていただき、良かったです。ボランティア体験が自分自身の成長につながると話してくれた高校生にとっても頼もしさを感じました。(丸子 見守り委員)



～ 少年補導委員の活動紹介 ～

第2回少年育成センター活動A <9月3日(木) 上田駅周辺・しなの鉄道 巡回>



今回、2地区(丸子中央・内村)の少年見守り委員(代表)・特別見守り委員・少年育成センター事務局で、上田駅周辺

と列車運行の様子を視察(巡回)しました。公共性を大切に取り組まれているしなの鉄道、駅前駐輪場管理事務所の方から、利用状況や近況のお話をうかがいました。

温泉口およびお城口2か所の駐輪場管理事務所の方からは「高校生の使用は、おおむね良好であるが、外国籍の方々の使用については、注意が必要である。」「お城口多目的トイレに不適切な利用実態があって心配…」等のお話をいただきました。しなの鉄道の営業課の方からは「乗車のマナーは、高校生は、おおむね良い状況。乗り降りの際、入り



口ドア付近で、止まらず、座席奥まで入っていただくように指導してほしい。」「駅の時刻表

は、電車の動き出す時刻です。ドアの閉まる時刻ではありません。」等のお話をいただくと同時に「地方路線(鉄路)を守る使命(強い志)」についてもお話をいただきました。

その後、2班に分かれ営業課の方と一緒に、田中-上田駅間、戸倉-上田駅間の列車に乗車しました。日頃からの市民の足として公共交通の利便性・サービスの向上への取り組みについても研修する機会となりました。委員の定期巡回が難しい列車内ですが、青少年を含む乗車マナーはとても良好でした。また「乗車している学生が黙ってスマ

ホを見ている姿が印象に残った。鉄道の知らないことをしなの鉄道の方に教えていただき、とても

勉強になった。」等の感想を寄せていただきました。



お知らせ 掲示板

11月 子ども・若者育成支援強調月間

11/ 4 (火) 子ども・若者育成支援強調月間駅前啓発活動<地域振興局・正副会長・特別・事務局>

11/ 8 (土) 長野県青少年健全育成県民大会 岡谷市<希望委員>

11/14 (金) 少年育成センター活動「地域と学生の連携拠点・繁華街」<指定班>

11/27 (木) 地区会長・班長会<中央公民館>

12/ 9 (火) 少年育成センター活動「市街地カラオケ・インターネットカフェ・マンガ喫茶」<指定班>

12/18 (木) 藤岡市少年補導委員会・教育委員会との情報交換会

1/20 (木) 理事会<市役所>

1/中旬 少年育成センター活動B「イノスタイル(予定)」<指定班>

3/ 4 (木) 理事会・全体研修会<上田文化会館・中央公民館>



毎月 第三日曜日は
「家庭の日」 です